



みどりの通信



第120号

(令和4年5月16日発行)

下北地域県民局 地域農林水産部 農業普及振興室

〒035-0073 むつ市中央一丁目1-8

TEL直通: 0175-22-2685 FAX: 0175-22-3212

令和4年度のスタートに当たって

農業普及振興室長 山内 俊範

新採用以来、31年ぶりに下北地域に戻りました。コロナ禍の中、様々な制約がある中、御恩を受けた皆様への挨拶もままならない無礼を御容赦ください。

当地は農林水産、耕種・畜産が補完し合っている、共助・共存の地域と考えていますが、気候の温暖化は、かつて経験したことのない大雨、大雪災害をもたらしました。また、三八・上北地域で発生した高病原性鳥インフルエンザなど、未だ記憶に新しいところです。

そんな中であって「ほっかりん」や「夏秋いちご」、「一球入魂かぼちゃ」など特徴的な産地を形成し、「アピオス」「ワイン用ぶどう」「オコッペいもっこ」「肉用牛」など逸品の生産にも取り組まれ地域を支えています。国の制度を活用して「夏秋いちご」や「にんにく」の栽培に取り組む新規就農者もあり、新たな動きが芽生えているところです。

農業普及振興室は、未来の下北を担う「しもきたマルシェ」活動のほか、安全・安心で地域の持続性を高める活動を関係機関と連携して支援しますので、今年度もよろしくお願ひします。



みごと「奨励賞」を受賞！...令和3年度「青森県攻めの農林水産業賞」

「攻め」の姿勢で収益力を高め、地域の活性化に貢献している個人・団体を表彰する県の「攻めの農林水産業賞」。風間浦村の「かざまうら産直友の会」が「農山漁村づくり」部門で「奨励賞」を受賞しました。



産地直売所「ふのりちゃん」運営のほか、令和元年度からは、村産農水産物を活用した総菜の移動販売や高齢者宅への宅配も開始。

「収益性向上」「買物の利便性向上」「高齢者の見守り機能向上」といった“三方良し”の活動が高く評価されました。

むつ下北地区指導農業士会 ~新・青年農業士の紹介~



高松 久希氏(むつ市)

平成30年から農業生産法人 有限会社 新栄農場 の代表取締役として経営全般を担い、にんにくの大規模栽培と作付品目の集約化により、会社の経営安定化を図っています。



杉本 尊氏 (東通村)

平成26年から、実家のそば及びブルーベリーの経営を引き継ぐとともに、東通村大豆そば組合の一員として、同村の基幹作物であるそばや大豆、WCSの作業委託のオペレーターとして一翼を担っています。

普及の外から

大間町「新釜地区」で進む、ほ場整備

大間町奥戸地域では、耕作放棄された水田を畑地化する基盤整備事業（全3工区）に取り組んでおり、昨年度は、既に整地や暗渠排水工事を終えた第2工区に「オコッペいもっこ」や「加工用トマト」を作付けし、どちらも他の畑と比較しても収量が劣らないこと確認しました。

現在、第1工区を整備しており、令和4年度は土壌診断に基づく土壌改良や、除れきを行い、令和5年度からの作付けを目指しています



普及の外から

佐井村の「わいわい漁港整備」

佐井漁港を、高齢者や女性、新規就業者でも安全に働くことができる「なりわい」の場とするとともに、新たな観光資源として活用することで漁村の「にぎわい」をも創出する...そんな整備を「わいわい漁港整備」と名付け、昨年度から着手しています。

既存の防波堤の沖側に、350mの新たな防波堤を整備し、その内側を魚類の養殖場や藻場として整備したり、漁港内でも既存の水域を活用として漁業体験の場などを整備する計画です。



夏秋いちごの技術力アップ！

今年も6月から「夏秋いちごレベルアップ研修会」を開催します。

現地研修を中心に、県内の先進地視察も組み入れて夏秋いちご農家の技術力向上を応援します。

また、時期ごとの栽培管理のポイント等をお知らせする「夏秋いちご通信」も随時発行しますので、ぜひ御活用ください。



青天農場、開催します！

下北管内には、農作業を体験できる場「青天農場」を3か所設置しています。

関心がある方は、農業普及振興室までお問い合わせください。

農場名	市町村	体験可能作物
蝦名園芸(むつ市)	むつ市	トマト、きゅうり、夏秋いちご
ドリームファーム下北	東通村	夏秋いちご、にんにく
あべらベリー苑	東通村	果樹(ブルーベリー)、 スイートコーン

産直市「しもきたマルシェ」がスタートしました！

今年度も、むつ市の「ミルク工房ボン・サーブ」前で、5～10月まで毎月1回、第2日曜日（8月のみ11日（木・祝）開催）に「しもきたマルシェ」を開催します。

下北地域の美味しいものはもちろん、来場者の皆さんに楽しんでもらうため、「しもきたマルシェの会」会員が様々な企画を用意してお待ちしています。

ぜひ、遊びにきてください。

マルシェHPへGO!



撮影のため、マスクを取っています。

国の新しい「新規就農支援事業」の御紹介

項目	支援内容
機械や施設の導入支援	経営発展支援事業 （新規） 【対象者】 認定新規就農者 【支援額】 最大750万円 【補助率】 3/4（補助対象事業費 上限1,000万円） 経営開始資金を併用する場合は、上限375万円
就農直後の所得支援	経営開始資金 （旧農業次世代人材投資事業（経営開始型）） 【対象者】 認定新規就農者 【支援額】 最大450万円（12.5万円/月×最長3年） 【補助率】 10/10
研修生への支援	就農準備資金 （旧農業次世代人材投資事業（準備型）） 【対象者】 認定新規就農者 【支援額】 最大300万円（12.5万円/月×最長2年） 【補助率】 10/10
雇用元などへの支援	雇用就農資金 （旧農の雇用事業） 【対象者】 農業法人など 【支援額】 最大240万円（60万円/年×最長4年） 【補助率】 10/10

本年度から、国の新規就農支援事業の枠組みが大きく変わりますので、そのポイントを御紹介します。

活用に当たっては、各種要件がありますので、詳しくは農業普及振興室までお問合せください。

また、新規就農に関する御相談も随時、市町村又は農業普及振興室で受け付けています。



農林水産省のホームページでも詳しい情報が入手できます（「農林水産省 新規就農」でキーワード検索）。

「春の農作業安全運動」実施中

実施期間 令和4年4月1日～5月31日

慣れた作業でも油断せず、安全を確認して作業しましょう。

必ず作業の合間に十分な休憩を取りましょう。

「自分は大丈夫」と過信せず、無理のない作業を行いましょう。

1人での作業は避け、やむを得ず1人で作業する場合は、家族に作業場所と帰宅時間を伝え、携帯電話を持ちましょう。

家族や周りの人など、地域全体で注意を呼び掛けましょう。



農薬は適正に使用しましょう！

農薬を使用する際は、ラベルをよく確認し、

- ・適用作物名
- ・使用量
- ・希釈倍数
- ・使用時期
- ・使用回数

を必ず守りましょう。次のHPで最新情報を確認。

> 農薬登録情報提供システム

<https://pesticide.maff.go.jp/>

農薬散布時は隣接作物に飛散（ドリフト）しないようにし、使用後は防除日誌に記帳しましょう。



三三情報

農業普及振興室では、各種研修会やイベント情報、管内のできごと、更には下北の食・文化・風景などを随時紹介するFacebookページを開設しています。「いいね！」で、いい農ライフを！

>> 下北地域農業普及振興室Facebookページ「魅力発信！下北の農業」

下北農業普及振興室

職員紹介

よろしくお願いします



農業普及振興室長

山内 俊範

担当：農業普及振興室の総括



企画・経営班

農畜振興班



総括主幹(副室長) 落合 賢之

担当：企画・経営班の総括



主幹 伊藤 和彦

担当：新規就農者、農業労働力確保支援、地域経営



主査 瀬川 俊宏

担当：経営所得安定対策、人・農地プラン、農地中間管理事業、農業委員会



主査 小林 健一

担当：食育、食品表示、6次産業化各種補助事業、産直施設



主事 三浦 丈瑠

担当：認定農業者、農福連携、鳥獣被害防止、農業経営



技師 内村 ゆき美

担当：女性起業、ViC・ウーマン、しもきたマルシェ



主幹(副室長) 三浦 嘉浩

担当：農畜振興班の総括



主幹 一戸 武晴

担当：水稲・畑作物の生産指導、災害対応



主幹 長谷川 夏子

担当：野菜の生産指導、農薬適正使用、植物防疫



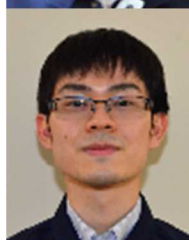
主査 白田 裕

担当：畜産・果樹の生産指導、GAP、土づくり



技師 對馬 慶

担当：野菜・花きの生産指導、指導農業士会



技師 藤田 優作

担当：野菜・花きの生産指導、農作業安全



マークは今年赴任してきた職員です！